国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

記者発表資料

平成２３年３月２５日
九州地方整備局
延岡河川国道事務所

東北地方太平洋沖地震対応の排水ポンプ車活動状況

【中間報告】宮城県石巻市で１３２時間連続の排水運転

３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災し、津波により冠水している箇所の排水活動を支援するため、３月１３日に出動した延岡河川国道事務所保有の**排水ポンプ車（１台当り排水能力：毎分３０ｍ³）２台は、宮城県石巻市の現場において、３月１８日２３時より排水運転を開始し、水位が低下した２４日１１時までの６日間連続（１３２時間）で昼夜を問わず排水作業を行いました。（２５ｍプール約１，２００個分、約４７５千ｍ³ の水を排水）**

今回は、地震の被害が甚大で、派遣先でのポンプ運転要員の確保などが困難な状況にあることから、車両の運搬だけでなく、現地でのポンプ運転など一連の支援活動を担っており、**延岡河川国道事務所が「災害時等応急対策業務に関する基本協定」を締結している清本鐵工（株）と矢野建設（株）の２社に、併せて１０名（２５日時点）の方を派遣して頂いています。**

派遣先は、宿泊場所や食料の確保など厳しい環境下ではありますが、支援活動により１日も早い復旧ができるよう奮闘して頂いています。引き続き、次の排水指示があるまで、宮城県仙台市において待機しています。

【別紙】；宮城県石巻市での排水ポンプ車活動状況

【問い合わせ先】
国土交通省　延岡河川国道事務所　技術副所長　川　野　　晃
工務第１課長　戸　田　　博　康

〒882-0803　宮崎県延岡市大貫町１丁目２８８９番地
電話：0982-31-1155（代）　FAX：0982-33-6907
http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/

【別紙】 地図及び写真は、東北地方整備局　北上川下流河川事務所
記者発表資料（3月19日10時00分発表）より引用

排水ポンプ車　活動状況

石巻市井内の浸水解消のための排水状況
18日23時30分撮影

※矢印は排水の流れ